



横浜市立上矢部小学校 学校だより

令和5年1月10日

やまゆり 1月



学校教育目標 **大地に根をはり 共に伸びよう 天までとどけ**

HP アドレス www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiyabe/

☆欠席連絡は、連絡帳かマチコミメール（朝 8:00 まで）、それ以降は電話でお願いします ☆朝学校に着くのは、8:10~8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません ☆帰宅後の外出は5時までです ☆放課後の学校への電話連絡は 18時までをお願いします



あけまして おめでとうございます

校長 梅田 巖

あけましておめでとうございます。2023（令和5）年のスタートです。今年は兎年。干支でいうと「癸卯（みずのえう）」。これまでの努力が実を結び勢い良く成長し飛躍するような年になると言われています。

昔話に「兎と亀」の話があります。まじめに走った亀が勝ち、怠けた兎は負けてしまう。だから、みんなもまじめにこつこつと努力しなさい、という話。世界には「兎と亀」の話がたくさんあると、ある本に紹介されていました。内容や教訓が少しずつ違って興味深いのです。

フランスでは、兎は亀を先に走らせておいて、ゴール近くで格好良く追い抜こうと考えていました。しかし、スタートが遅すぎたので、兎は亀を追い抜くことができずに敗れました。教訓は、もう少し早くスタートすればよかった。

イランの亀は頭のいい亀です。競走をはじめる前に、自分そっくりな弟を呼んで来て、ゴールに立たせておいてから競走をしました。兎がどんなに速く走っても亀には負けてしまうこととなります。教訓は、意味のない競争をするな。おまえたちは、競争はしてはいけないよ！

インドの話は、日本と同じ。つまり、兎は昼寝をして亀に敗れます。でも悪いのは亀ということになっています。「もしもし兎さん、目を醒ましたらどうですか」と、なぜ一声かけてやらなかったか？となります。で教訓は、友情を大切にしなければならない。

カメルーンの亀は親類の亀たちを集めました。走る道筋に一定の間隔で隠れていてくれと頼み、そして出走。兎が途中で確かめるたびに必ず後ろに亀がいたので、走りに走る。ついにゴールで倒れて死んでしまい亀の勝ち。教訓は、大切なものは準備・知恵・連帯。

似たような話でも、国によってずいぶん違うものですね。いずれにしても、「ウサギは速い」というイメージは共通のようです。世界中の人たちにとって「勢い良く成長し飛躍するような年」になるといいですね。上矢部小学校もみんなで力を合わせ「勢い良く成長し飛躍するような年」にしていきましょう。今年もよろしくお祈りします。